

ハレとケ

長久手市文化の家情報誌

2017/04 ▶ 2017/09

Vol.
04



故郷への想いも共鳴する「友人」とともに 川上ミネが、文化の家リニューアールを寿ぐ

長久手出身の国際的ピアニスト、川上ミネさんが文化の家に再び登場！
売れっ子サンドウィッチマンも迎え、リニューアール記念公演を彩ります。
音楽と笑い、ちよつと意表を突く顔合わせが実現するのは一体なぜ？
両者の出会いから故郷が、つなぐ絆まで、ミネさんに尋ねました。



川上ミネ

愛知県長久手市出身。愛知県立明和高等学校音楽科卒業後、ミュンヘン国立音楽大学ピアノ科に進学。当初はドイツで活動したが、スペインにわたったところ、マドリードの街から手荒い洗礼を受けつつも風土や文化に魅了され、マドリード国立音楽大学院ピアノ科に入学。卒業後は中南米を放浪して武者修行のごとく自らを磨き、無国籍・無ジャンルの音楽にも傾倒していく。現在はマドリードと京都を拠点に演奏・作曲活動を行う。

写真：平山ジロウ

「2013年に日本スペイン交流400年事業の公式ピアニストとしてテーマ曲を制作・演奏したんですが、400年の始まりは仙台藩主・伊達政宗が東北の武士・支倉常長を『慶長遣欧使節』としてスペインに派遣したことなんです。サンドウィッチマンは東北、仙台出身。私たちの縁は、ある意味ここから始まりました」

スペインで音楽家として大きな転機を迎えたミネさんにとって、かの地は第二の故郷のように大切な場所。彼女が東北にも愛着を持つのは自然な流れだったのかもしれない。ただ、サンドウィッチマンとの結びつきは案外シンプル!!

「もともと私が大ファンだったんですよ。それで仙台のイベントで出会った時『芝居をしませんか』と襲い掛かって(笑)。楽屋が一緒になる偶然もあり、チャンス逃さないと思っただけです。そして2014年、サンドウィッチマンとの最初の作品『連作コント&ピアノ サムライ宣教師クルーズ』が実現しました。支倉常長と宣教師を描いたこの舞台は東京と仙台で上演したんですが、ピアノ演奏あり歌あり踊りありで、みんな死にぞうに(苦笑)。おかげでNHKの一番にもなりましたし、さらに彼らと仲良くなりました。今も仙台によく行きませんが、共通の友人がわかつたり、不思議なつながりを感じますね」

そんなつながりを知る文化の家では、7月の当館リニューアール記念に両者の共演を企画。その気になる中身は……。

「今まさに練っている最中なんです！ サンドウィッチマンにとっても、川上ミネにとっても、文化の家にとっても唯一のステージにするつもりです。それぞれの見せ場もあるでしょうし、もちろん絡みもお見せしたい。表現者同士ではありますが友人でもありますからね。今回も『私の故郷を見せたい』と誘ったら、即OKが返ってきたんです」

取材時は打合せ前で詳細に踏み込めなかったものの、ミネさんの明るい表情からはイイ予感ばかり。背景にあるのはサンドウィッチマンへの確かな信頼に他なりません。

「彼らは本当に上手くて面白いですね。また、何をやっても品と思いがちがある。芸人や役者は人となりが見えやすいですけど、サンドウィッチマンにはネタへの愛を感じます。それは私の音楽とも通じる。リズム感の良さも音楽のセッションに似た部分があり、アーティストとしても尊敬します。長久手では、インプロ(即興)もできたらいいなあ」

技術や表現に対して溢れる言葉には、ご自身の信念も表れます。

「サンドウィッチマンには、練習の果てに滲み出る自由さがあるんですよ。努力型天才派と言うのか。しかもクラシック型の努力。彼らは、自分もそうありたいとか、

憧れる、学びたいと思わせてくれます。私は、訓練された技術と自由に強く惹かれるところがあって、その上で、他者を笑顔にする力のある人に深く共鳴します。サンドウィッチマンは、まさにそう。そして、彼らの現在を運命づけたのが東日本大震災ではないかと……。震災を経験したこと、復興が、笑いで人を励ますことが、彼らの、使命になったと思います」

ちなみに、冒頭で話題に出た慶長遣欧使節も大きな震災をきっかけに計画されたというから、歴史とは奇妙な巡り合わせを見せるもの。ミネさんはサンドウィッチマン両人の想いに気を配りながら、自身の故郷・長久手についても語ってくれました。

「新しい商業施設が次々とできて、移住者も増えている今、長久手には芸術や文化が大事になってくると考えています。自然との関係も踏まえ、誰もが故郷と思える長久手。にできるのか。その中心に文化の家が存在して、芸術・文化のブレイン、発信源になることを願います。文化の家は公演のバリエーションが幅広く良質で、日本でもトップレベルのホール。スタッフの仕事には手作りの温かきがあり、人の輪も強く感じて、故郷の誇りです。また演奏環境には聴衆の在り方も重要。長久手は耳の肥えたお客様が多く、それがコンサートの質の高さに繋がっていますよね。分かち合うものが多い場と立っていることは本当に幸せですし、文化の家の発展のためには何でも力になりたいと心から思っています」



「連作コント&ピアノ サムライ宣教師クルーズ」の終演後

伊達みきお

世界的ピアニスト・川上ミネさんの素晴らしいパフォーマンスと、日本のお笑い芸人・サンドウィッチマンの夢のコラボ!是非、感動と笑いを味わいに来てください!



富澤たけし

ピアノと笑いのハーモニーで、癒されに来て下さいね!

関連企画

ミネさんがサウンドトラックを手掛けた映画「ベニシアさんの四季の庭」の上映会鑑賞後、聴いたばかりの曲を生演奏で!最後はハーブティーや焼き菓子の楽しめるパーティーを催します。自然を感じられる優雅な午後をぜひ。



写真：穂山正

「ベニシアさんの四季の庭」上映会

7月1日(土) 13:30 森のホール
前売・当日:一般1,500円 フレンズ会員1,000円(前売のみ)

フレンズ会員限定

お得なセット券
あります!
4,500円
(前売のみ)

京都大原、築100年以上の古民家に暮らすイギリス人女性ベニシア・スタンリー・スミスさんの半生を描くドキュメンタリー。ベニシアさん達が繰り広げる「手作り丁寧生活」は多くの人を魅了しています。

おたのしみ①

聴いたばかりの曲を生演奏で!川上ミネさんミニピアノ&トークショー
[出演]川上ミネ

おたのしみ②

ベニシアさんと共同で作った長久手オリジナルハーブティーでティーパーティー

長久手市文化の家リニューアール記念公演 川上ミネピアノ&トークコンサート with サンドウィッチマン

7月9日(日) 15:00
森のホール
チケット発売日:フレンズ会員5月6日(土)
一般5月13日(土)
前売・当日:一般5,000円
フレンズ会員3,900円(前売のみ)
小・中学生1,000円
※全席指定 ※未就学児入場不可

この夏、子どもたちの五感を呼び覚ます

～目と耳で楽しむ、サプライズと魅力に溢れたセリフのないステージ～



この夏、ヨーロッパから7人の音楽家と2人のパントマイムを招き子どもたちの心にとびきりのプレゼントをお届けします。

ドキドキワクワクがいっぱいだったステージは、この夏、子どもたちにとって忘れられない特別な思い出になること間違いなし!!!

TULLES & LES OMBRES



「チュール君と影」

8月5日(土) 11:00/14:00
森のホール
料金:未定 ※6月発売予定

作曲 マルティン・マタロン
演奏 アンサンブル・ルシリン
(編成:ヴァイオリン2、ヴィオラ1、チェロ1、サクソ1、パーカッション1)
パントマイム BODECKER&NEANDER



アンサンブル・ルシリン紹介

ルクセンブルクを拠点に活躍する現代音楽アンサンブル。20世紀・21世紀の音楽の振興と創作に力を入れており、弦楽四重奏、ピアノ、打楽器メンバーを核に、プロジェクトの規模に応じて管楽器や他の楽器が加わります。作曲家、学者、演奏家が創造に参加し、共同で現代のさまざまな音楽分野の発展を目指しています。

ストーリー

チュール君はいつもひとりで遊んでいる。でも、本当は、一人じゃない。だって、チュール君は何にだってなれるんだ! 動物やオーケストラ、船長、インディアンにもなるよ。でも本当の友達、チュール君のすぐ近くにいる。そう、壁に。いつも一緒にいろんな冒険をするんだ! 「チュール君と影」は、ある少年の成長の物語。



劇王IXにて、チャンピオンベルトを掲げる平塚直隆。今回のアジア大会では現・劇王として決勝戦に出場する。

日本劇作家東海支部プロデュースによる短編演劇の競演大会「J・ライト級チャンピオンタイトルマッチ劇王」は、審査員だけでなく観客も投票できる参加型の趣向で評判を呼び、歴史的合戦の地・長久手の名物イベントとして発展してきました。遊び心をもって始まった第1回から、優勝者が手に入れられるのは手作りのチャンピオンベルトと名譽のみ、その潔さが良かったのか、全国から挑戦者が集まり、各地でも同形式のイベントが開催されるほど盛り上がりを見せています。ただし、長久手では2013年の第10回記念・天下統一大会を区切り休止となっていました。その劇王が2017年9月、希望の復活を果たします! しかも、札幌・東北・関東・甲信越・東海・関西・中国・四国・九州地区の予選を勝ち上がった劇王に加え、韓国、香港、シンガポールからも参戦が決定。アジア大会にスケールアップして開催されるのです!! そこで、これまでの劇王を振り返ってみました。

歴代劇王をプレイバック!



劇王I (2003年)
初代劇王 杉本明朗
殺陣と笑ったつぶりの舞台が大ウケ。アクションクラブの杉本さんが初代の座を射止めました。



劇王II (2004年)
第2代劇王 品川浩幸
劇団シアターガッツの主宰だった品川さん(現・劇団LOVE K.O!)がウエルメイドコメディで優勝。



劇王III (2005年)
第3代劇王 品川浩幸
品川さん連覇。この回のみ劇作家大会の一環として開催され、韓国からも参加がありました。



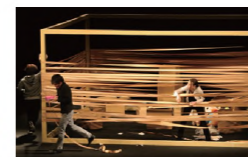
劇王IV (2007年)
第4代劇王 柴幸男
全国の戯曲賞受賞者が参戦。東京の劇団「ままと」の柴さんの斬新な舞台に誰もが驚きました。



劇王V (2008年)
第5代劇王 鹿目由紀
東海屈指の人気を誇る劇団あおきりみかんの鹿目由紀さんが優勝。初の「劇女王」が誕生します。



劇王VI (2009年)
第6代劇王 鹿目由紀
鹿目さんが連覇。物語以上に、演劇の構造で笑いを生む彼女のスタイルも確立されていきます。



劇王VII (2010年)
第7代劇王 鹿目由紀
3連覇で完全に鹿目さん時代。敗者たちが公開批評を受ける企画「落武者を斬る!」も恒例に。



劇王VIII (2011年)
第8代劇王 鹿目由紀
鹿目さんが驚異の4連覇を達成! 負け知らずの状況から、ついに「劇帝」の称号を得ました。



劇王IX (2012年)
第9代劇王 平塚直隆
現・東海支部長、オイスターズの平塚さんが悲願の初優勝。「万年ファイナリスト」の汚名も返上!



劇王X (2013年)
初代劇天 柴幸男
天下統一大会。岸田戯曲賞作家へと成長した第4代劇王の柴さんが「劇天」に登り詰めました。

劇王

—基本ルール—

上演時間20分、役者3名以内、数分で舞台転換可能という制約のもと上演。観客とゲスト審査員の投票によって優勝者が決定される。

劇王XI ~アジア大会~

9月15日(金)~17日(日)
風のホール ほか
※開演時間など詳細は今後、公式ホームページ等にて随時発表

長久手でエンゲキの国際大会が!?

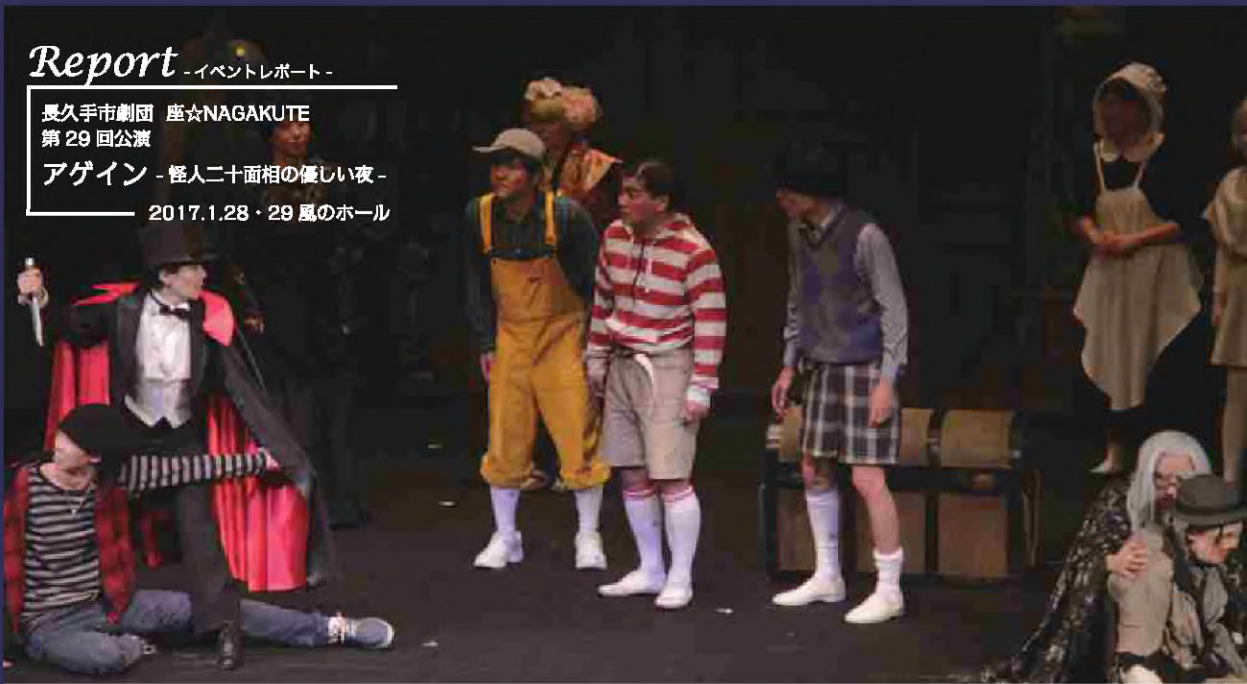
名物企画「劇王」復活が待ちきれない!!



合戦くん:劇王が敗れると次の大会では「合戦くん」となり司会を務めなければならない。(写真は代役で登場した佃典彦)

Report - イベントレポート -

長久手市劇団 座☆NAGAKUTE
第29回公演
アゲイン - 怪人二十面相の優しい夜 -
2017.11.28・29 風のホール



03
座☆演劇!

変形する大がかりな美術、パ
ラエティ豊かな衣装、くるくる
変わる照明、分かりやすくボツ
プな音響、正面切つて台詞を話
す役者。一般的に「王道」と言わ
れる作品だと思えます。そんな
座☆NAGAKUTEの「アゲ
イン」怪人二十面相の優しい夜
「に私の概念はまんまと覆さ
れました。私のように「王道」つて
苦手」という斜に構えた擦れ
た大人ほど、この作品に打ちの
めされたのではないのでしょうか。
その昔「誰も恐れる怪人二十
面相」として一世を風靡した
元怪人二十面相のお話。昔感
じた輝きを追い求めるも時は
流れ、怪人二十面相の美学は理
解されないうころか馬鹿にされ
る始末。かつてはかわいかった少
年探偵団は汚いおじさん……。
作品に漂うもの悲しさと切な
さを、先述した「王道」エンタメ
演出が優しくくるむため、絶妙
なバランスで心に届いてくるの
です。劇団員も120%の力を
発揮しようと暑苦しいまでの熱
量。これぞ演劇、王道万歳と思
わず唸ってしまう公演でした。
(創造スタッフ・藤島えり子)

01 異色のコラボレーション
高め合う新しい舞台



Report - イベントレポート -

安倍圭子
ワイルトウオーサ・マリンバ・コンサート
～日本舞踊・西川千雅とともに～
2016.10.15 森のホール

マリimba奏者の安倍圭子さん、
日本舞踊の西川千雅さん、ガム
ラン・ジェゴックグループのスカ
ルサクラという、国もジャンルも
バラバラのコラボレーションによ
るこの演奏会は、初めて企画の
詳細を聞いたときから自分の中
で異彩を放つていて、新しい舞台
の可能性にワクワクし続けてい
ました。そしてその本番はやは
りというか、自分の想像をいい
意味で何度も裏切り、新鮮な衝
撃をシャキシャキと与え続けて
くれました。
始めの1音から、自分の舞台
観を愛えてくれるような優しく
も力強い安倍圭子さんのマリン
バの音は、他にないトキメキを
伴った響きで一気に意識を舞台
にもつていってしまいます。ソロ、
アンサンブル共に素晴らしく、全
曲オリジナル作品で構成されて
いる中で時にユーモアなトーン
に少し笑えてしまうような場面
もありました。今回の売りの一つ
であるコラボレーションでは、不
思議な日本舞踊やガムラン独特
の野生感の中でも埋もれること
はなく、絶妙なバランスでもって
圧倒的な存在感を放ち、とても
面白い舞台を作り上げていま
した。
(創造スタッフ・野老真吾)

04 総勢100人による迫力の大合唱



Report - イベントレポート -

長久手市合唱団
ニューセンチュリーコーラス
Nagakute 第19回定期演奏会
2017.1.22 森のホール

長久手市合唱団、市民グルー
プで構成されたニューセンチュリー
コーラス Nagakute の第
19回定期演奏会、日頃の練習成
果を披露するコーラスの発表
会が、去る1月22日に森のホー
ルで開催されました。市民合唱
団らしく会場は多くの音楽を
愛する市民でほぼ満席状態に
した。
開演を知らせるチャイムの合
図でメンバーが颯爽と笑顔で登
場です。市民合唱団の発表によ
さわしい温かな幕開けでした。
ひと時の静寂の後、今度は指揮
者で指導者でもある山本高栄氏
が登場。第一部「珠玉の合唱名
曲集」の開始です。皮切りはハレ
ルヤコーラス、緊張のせいかまず
まずの滑り出しでしたが、その
後は堂々と有名なコーラス曲を
次々と披露していきます。
休憩を挟んで第二部では語り
継がれる合唱曲。弦楽合奏を背
景に日本唱歌のヒットメロディ
です。日本語で歌われる唱歌
では言葉の明瞭さやその表現が
顕著となります。日頃からポイ
ストレーニングなど、大変厳し
い練習にも励まれていること
と。しかし、少し物足りなさも感
じられました。地元にある芸大
とも様々なかたちで協力連携を
図り、更なる努力で、名実共に
「文化を磨き、人が輝くまち」長
久手の誇れる市民合唱団とな
ることを期待します。
(一般モニター・野田理吉)

Report - イベントレポート -

第31回国民文化祭・あいち2016
長久手人物語
～ナガクテビトモノガタリ～
2016.11.19 森のホール



02
伝われ!

長久手の魅力!

毎年47都道府県のうちどこ
かで開催される「国民文化祭」。
2016年度は愛知の担当で、
約2カ月間県内各地で音楽、美
術、演劇、伝統文化など、245
もの催しが行われました。
その中で長久手市が総力を投
じたのが「長久手人物語」ナガ
クテビトモノガタリ。実際に
長久手市が公開しているまもづ
くりビジョン「2050年長久
手人物語」をモチーフに市内在
住の劇作家・刈馬カオスさん
によつて描かれた演劇作品です。
オーディションで決定した、年齢
も経験も今後の展望までも様々
なキャスト陣。出演オーディショ
ン、配役決定(この日は刈馬さん
のベースアドバイザーも!)、
本番と拝見しましたがメキメキ
成長する芝居と結束力は素晴
らしいものでした。長久手ネタを
ふんだんに盛り込んだ作品に、本
番では長久手副市長がゲスト出
演!ラストは応援ソング「ク
レシガバナ」に合わせてダンス!
様々な手法で長久手の魅力が伝
わつてきて、会場で笑顔が溢
れるあたたかい公演となり
ました。
(創造スタッフ・藤島えり子)

創造スタッフ紹介

昨年の12月17日に創造スタッフプロデュースによるクリスマスコンサート「ふゆねずみと長い夜」を上演しました！今年は、完全オリジナルストーリーに音楽と映像で魅せる「観るコンサート」。ここ数年お笑い要素が強くなってきたので、今回は「品」が裏テーマになっております（笑）。



今回のクリスマスコンサートを一言で表すと？

「やさしい話」(橋寛憲)

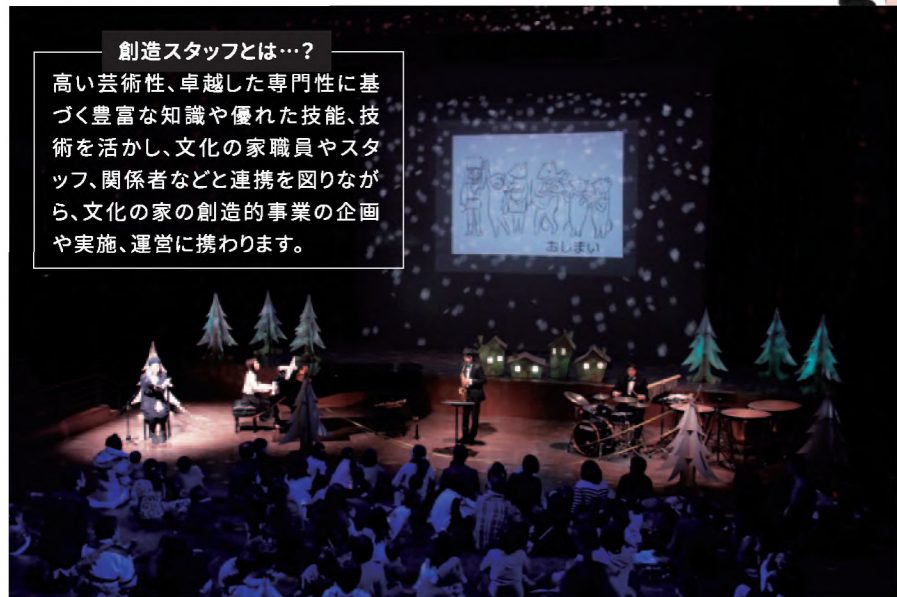
お互いのことを思っている。受け入れあって一緒にいる。そういう話です。

一言で表すとですね、これはですね、主人公はふゆねずみとゆきねずみだと普通は思うわけなんです、実はそうではなくて、むしろくろみ割り人形の方が主人公とも言えるわけで、一人この世界からはぐれてしまっているくろみ割り人形の出会いと再生の話でもあるわけなんです。これはですね、クリスマスコンサートの脚本の中ではあまり描かなかったことではあるんですが、くろみ割り人形はもともとある国の王様のもとで暮らしていたのですが、王様との別れによって一人になってしまふ。くろみ割り人形は道具で、王様にとっても大切に扱われていた。一方で美しい時間を生きているわけなんです。一方の王様は人としての尊厳があり、あるとき二人はその瞬間をわかってしまうわけなんです。そして一人になったくろみ割り人形は長い間、王様を待ち続けるのですが、時間をかけて受け入れ一人ですべて決めるわけなんです。そして何年か経つと王様は生きていくことを選びました。そして山崎さんなんです。そして新しい生活環境を築きあげていくわけなんです。再び、生きていくわけなんです。余韻ですが、この後も一緒に暮らしますが、もうすでに新しい環境を築きあげてくろみ割り人形はふゆねずみとゆきねずみに変わっていくことになるんです。そしてそれはまた新しい人生の始まりなんです。思惟館のスタッフと一緒の時間を過ごす。大切に扱われた道具であるくろみ割り人形の物語であるわけです。



創造スタッフとは…?

高い芸術性、卓越した専門性に基づく豊富な知識や優れた技能、技術を活かし、文化の家職員やスタッフ、関係者などと連携を図りながら、文化の家の創造的事業の企画や実施、運営に携わります。



「バランス」(野老真吾)

音楽と舞台、舞台と舞台外、品とユニーク、子供と大人。絶妙なバランスのハーモニー。素敵。



「品のよいクリスマス」(小林大地)

商業的なイメージや流行りのクリスマスソングではなく、普遍的に良いものを目指そうと考え、素朴なストーリーと選曲には皆でこだわりました。



「和」(藤島えり子)

コンサート中の和やかな雰囲気と、スタッフそれぞれの活躍が調和してきたように感じたので「和！来年は胸張って「品」と言いたいです笑



「創造スタッフの美味しいとこだけ」(石川貴憲)

脚本、演出、選曲などなど、企画全体にスタッフそれぞれの専門分野と感覚が表れていたと感じます。このメンバーならではの企画になりました。



「手作りを見せる!!」(鈴木豊大)

今年のクリスマス演奏会は創造スタッフが生の技術を見せれたと思います。普段は出来上がったものをお客様に見せる形ですが、今年はお客様の前で手作りしていくような感覚の演奏会でした。



「適材適所!」(井上陽葉)

去年は普段やらないこと(演劇)にも挑戦してそれはそれで楽しかったのですが、今回はそれぞれが一番得意な分野を見せるコンサートになったかなと思います!



/// INFORMATION ///



文化の家 森のホール徹底大解剖!!

文化の家では、夏休みの親子向けイベントで、舞台見学ツアーを実施しています。
文化の家で最も大きい森のホールには、他にはない珍しい仕掛けが沢山あって、この日はそれらを覗くことができるスペシャルな1日！実は職員でも滅多に見ることができない、舞台の裏側を特別にお見せします。
このイベントの一番の見所は、客席の大幅な回転！そんなんです。森のホールは、客席をひっくり返してまっ

☆夏休み企画☆

ホールを楽しむための見学ツアー
～日本唯一の舞台の裏側を公開!～

8月16日(水) 10:00

森のホール

無料 ※7月受付開始予定

(要事前申し込み・先着順100名まで)

小学生以上(親子向け)

※大人のみ参加もOK!



たいらにすることができちゃいます。見学ツアーでは、その様子をお見せします。その他にも、文化の家のお宝である2台のピアノ、ペーゼンドルファーとスタインウェイの聴き比べや、照明、音響のさまざまな効果を感じることが出来ます。聴き比べでは、自由に席を移動することが出来るので、ぜひ自分だけのお気に入りシートを探してみてください。

/// GUIDANCE ///

「第4回 多目的室」 知っていますか？文化の家の使い方

平

成29年2月から実施されている、文化の家の大規模改修工事。日頃からご利用いただいているお客様にはご不便おかけしております。

主に設備全般の老朽化に伴う修繕工事を行っているため、目立つような変化は少ないです。しかし、その中で新しく生まれ変わるお部屋があります。それが「多目的室」です。多目的室は、アトリビング棟2階にあった「生活工房」をリニューアルした部屋です。生活工房も畳があったり、ミシンがあったり、素敵な空間でしたが、さらに幅広く使えるようになります。生活工房より防音性がありますので、少人数での合唱やダンス、弦楽器の練習などできます。

お客様のアイデア次第でまだまだ利用の仕方の可能性は広がっていくと思います。ぜひ活用ください。



Strings



Chorus



Dance



名物! 第4回 **ながくて人**

平光 真彌 * Shin-ya Hiramitsu

このコーナーでは長久手市在住のアーティストを紹介します!

第4回は、ヴァイオリニストの平光真彌さんです。市内の愛知県立芸術大学を卒業後、東海地区を中心にソリスト、室内楽、指導などで大活躍中です。文化の家事業には多数出演しており、昨年度は、文化の家の一大事業「おんぼく」のプロデューサーとしても奔走!市内の中学校などでアウトリーチ活動も行うなど、文化の立役者さんです。長久手での公演について「生演奏に初めて触

れる方の目線を意識しつつも、単なるウケ狙いになることを避け、少しでもクラシック音楽を身近に感じてもらいたいという思いを込めてきました。文化の家の方と一体となって一つの公演のために掘り下げていく作業はとても楽しく、充実していましたね。」と語っています。平光さんの演奏は、とにかく情熱的!音楽への愛に溢れる平光さんの演奏、必聴です!長久手市ゲリラ演奏隊長(非公式)。そんなフレズスタッフが企画するフレズ企画。今年には年に一度で、12月にあるようです。また情報をチェックしてスケジュールを空けておいてくださいね!

クーテシガーナの教えて、星合さん!



長久手市のマスコットキャラクター、クーテシガーナが文化の家のアレコレをスタッフに質問するコーナー。今回は、フレズについてのギモンを星合さんに質問してみました。

裏表紙の
入会案内もCheck!



星合ひろ (文化の家管理係)



フレズってなに?
フレズは文化の家の友の会会員です。毎年約400名の方がフレズになっています。会員になると文化の家が主催する公演のチケットを早く安く購入できるなどの特典が受けられます。ご自宅に文化の家で行われる公演の情報も届きますよ!これは嬉しいですね。
どうやったらなるの?
文化の家の窓口で名前や住所を記入し、会費を納めれば、あなたも文化の家フレズです!フレズになると文化の家を知るきっかけが増え、わくわくするような感覚がみなさんの毎日を彩るはずです!
どんなことをしているの?
フレズの中には自ら希望し、文化の家で活動を行っている人たちもいます。フレズスタッフです。文化の家の公演でチケットをもぎってくれる人たちが覚えていますか?実は文化の家の職員ではなく、フレズスタッフなんです。それは活動のほんの一部で、お客さんに向けた事業の企画やフレズ会員の手元に届く機関紙作りも一からフレズスタッフが行っているんですよ。それぞれの得意なことを活かして楽しみながら活動をしています。フレズは文化の家と共に歩む、欠かせない存在です。そんなフレズスタッフが企画するフレズ企画。今年には年に一度で、12月にあるようです。また情報をチェックしてスケジュールを空けておいてくださいね!

ながくてフォトアルバム

ただいま春の準備中です。

香流川沿いの遊歩道やNAFファームの周りで、すこしずつ春の準備が始まっています。ツクシがしゃんと背を伸ばしながら空を仰ぎ、サクラのつぼみは膨らみながら今か今かと東風を待ちます。タンポポは冬寒さに縮こまっていたが、ようやく緊張が解けてきました。新しい季節、新しい日々への準備はいつでも誰でも大忙し。文化の家も、改修工事後のリニューアルに向けて準備しております。改修後はぜひ文化の家にいらしてください。



十日の華

夕暮れの奥から聞こえる祭り囃子。地元の方と、有志の方が、心を込めて作った岩作のあんどんが飾られた道。毎年8月10日に行われる安昌寺の九万九千日、別名「十日の華」の日に優しい光の「華」が咲きます。あんどんの光に照らされた道を、楽しみだねとわくわく通る人、楽しかったねとこにこ通る人。みんなの笑い声に、あんどんの光もふるふる震えて、笑っているようです。



編集後記

文化の家情報誌「ハレとケ」第4号の特集は、リニューアルオープン記念公演の川上ミネピアノ&トークwithサンドウィッチマンでした。ミネさんとの繋がりから生まれたこの企画。取材では、サンドウィッチマンのお笑いに対する姿勢をリスペクトするミネさんの熱い眼差しが印象的でした。ジャンルは違えど、音楽やお笑いで人を笑顔にしたいという熱い想いを持つ2組のアーティストがどんな化学反応を起こすのか、千載一遇のチャンスぜひお見逃しなく!また、改修工事を終え新しくなった文化の家はハード面だけでなく、ハード面でも生まれ変わっています。みんなの家になれるよう、アートを通してたくさん人の心をつなげられるよう、スタッフ一同精進して参りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

(「ハレとケ」担当・齋藤あい)

長久手市文化の家 情報誌

ハレとケ

第4号
2017年4月

発行:長久手市文化の家

印刷:株式会社 スタンパール社

デザイン:河野楓

編集:小島祐未子(家鴨の編集舎)

齋藤あい/寺嶋佳奈(長久手市文化の家)

「エモさに見る音楽の本質」

岡田百合香 (文化の家事業係)

えもい(エモい)「形」

- ①物悲しい、寂しい様子。
- ②感情が高ぶっている様子。感動、感激したときに使う。
- ③「音楽などで」接する人の心に、強く訴えかける働きを備えている様子。

「この曲は—ね」

出典:『若者言葉辞典』、辞書編者が選ぶ今年の新語2016(三省堂)

みなさまはこの言葉をどう感じでしょうか。三省堂の「今年の新語2016」の第2位にランクインした「エモい」。感情、感動を表す英語「emotion」の「エモ」に、形容詞化の接尾辞「い」をつけたら、「エモい」です。

一部の音楽シーンでは10年前から使われていたそうです。私の周りでは、すこし寂しいような、切ないような、ノスタルジーというのか、聴いていると涙が出そうになる音楽について「エモい」と呼んでいます。

私は、昨年度から文化の家で働いています。主に音楽系事業の担当をしており、扱う音楽はクラシックがほとんどです。もともと吹奏楽やバンド活動で音楽に触れてはいましたが、クラシックをきちんと聴くのは働き出してからが初めてでした。右も左も分からないままクラシックに触れているうちに、ものすごく「エモい」と感じました。

それは、今回の「名物!ながくて人」でご紹介している平光さんの演奏会に行ったときのこと。当時、少し前に嫌なことがあって、悲しくてモヤモヤしていた時期でした。すべてアラムスの曲で構成されたプログラム、ヴァイオリンソナタ第3番、第2楽章が中盤に差し掛かったときです。とてつもない衝撃が走りました。

「な、な、なんだこの感覚は...!!」

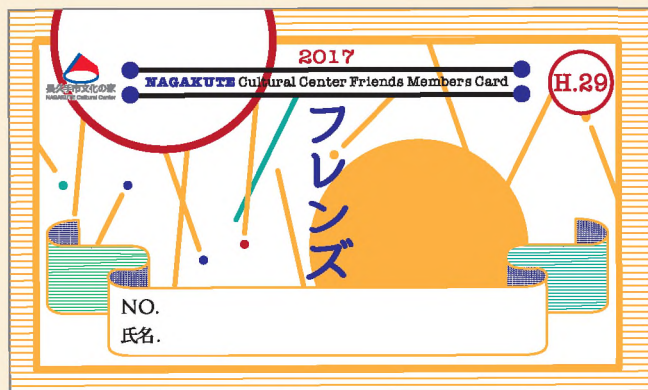
ライブハウスで、大好きな音楽を聞いているときのあの感覚。エモい!と感じるあの感覚。アラムスを聴いているときに、その感覚に陥ったのです。

今まで聴いた音楽の中でいちばんエモく、やさぐれた私の心に寄り添うようでした。こんなに音楽に「慰められた」と感じたのは初めてでした。平光さんの情熱的なヴァイオリン、田村緑さんの魅惑的なピアノ、そこから見たアラムスの感情の片に、思わず涙ぐんでしまうような演奏会を終えて、わたしは思いました。ロックもクラシックも、音楽にジャンルは関係ないんじゃないか。音楽の原点で、ここにあるんじゃないか。まさに、「エモさ」に音楽の本質を見た瞬間でした。クラシックの楽しみ方って、きつと難しくなくて、言葉のないメッセージ、心に訴えかけてくるものをそのまま受け止めれば良いんだろなと思えます。

皆さんも、エモさを感じにコンサートに出かけてみてはいかがでしょうか。一生忘れられない衝撃に出会えるかもしれません。

フレンズ会員募集中!

～フレンズに入ってもっとお得に楽しもう!～



〈フレンズ会員とは?〉

文化の家ではオリジナル企画をはじめ、音楽・演劇・伝統芸能等、いろいろな自主事業を行っています。フレンズ会員になると、チケットの先行発売や割引等のさまざまな特典があります。

～フレンズ会員特典～

- ①文化の家自主事業公演チケットの割引
- ②文化の家自主事業公演チケットの先行発売
- ③機関紙、情報誌、事業案内などの刊行物郵送
- ④フレンズが行う文化事業、交流事業への参加

※記載された内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【会費】 個人会員 年額1,500円(10月1日以降に入金の場合は1,000円)
 家族会員 年額1,000円(機関紙・事業案内等の郵送はありません)
 法人・グループ会員 年額15,000円(10月1日以降に入金の場合は10,000円)

【有効期限】 入会日から最初に訪れる3月31日まで
 【入会・更新方法】 文化の家1F事務室へお申し込みください。便利な郵便振替もご用意。詳しくはお問い合わせください。

今後の主な公演のご案内 Pick Up

長久手百景みらっせツアー	バスと徒歩で春の長久手を巡り、まちの魅力を再発見するツアーです。文化の家ならではのスペシャルな演出もお楽しみに!	■4/29(土)12:30～16:30 料 金:500円(お土産付) 定 員:先着20名 対 象:小学生以上 受付開始日:4/6(木)
長久手フォレスト合奏団 第13回演奏会 「Forest in the Summer」	愛知県立芸術大学の卒業生を中心に結成された室内合奏団。ビバルディ、シューベルトの作品をお届けします。	■7/23(日) 14:30 森のホール 料 金:前売 フレンズ会員・一般2,000円、学生1,500円 当日 フレンズ会員・一般・学生2,500円 ※全席自由 ※未就学児入場不可 ★5月発売予定
愛知県立芸術大学 陶磁専攻第5回「柏縁会」	隔年で開催している愛知県立芸術大学陶磁器専攻生らによる展示会。	■9月下旬 展示室 入場無料
愛知県立芸術大学 「市長賞披露記念コンサート」	長久手市と大学の相互の発展と充実に資するために創設された「長久手市長賞」の受賞者によるコンサート。	■9/23(土・祝) 時間未定 風のホール 入場無料(要整理券) ※全席自由 ※未就学児入場不可
愛知県立芸術大学 「室内楽の楽しみ」	愛知県立芸術大学の選抜された学生による室内楽のステージ。レベルの高い若い音楽家の演奏を、気軽に楽しむことができるコンサートです。	■9/24(日) 時間未定 風のホール 料金未定 ※全席自由 ※未就学児入場不可 ★7月発売予定
ながくてアートフェスティバル2017	今年で11回目。まちじゅうがアートに染まり、アートをきっかけに人と人をつなぐ長久手秋の風物詩です。	■9/30(土)～10/22(日) ※ワークショップなど一部有料 ※文化の家及び市内約35か所で展示やワークショップを開催



長久手市文化の家

〒480-1166 愛知県長久手市野田農201番地

お問合せ tel.0561-61-3411

〈HP〉http://www.city.nagakute.lg.jp/bunka/ct_bunka_ie.html

〈スタッフ日誌〉<http://bunkanoie.blog.fc2.com/> [f](#) 長久手市文化の家 [t](#) @bunkanoie

交通アクセス

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき通駅下車、徒歩7分
- 地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分
- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、名鉄バス愛知医科大学病院行きの一部(4番乗り場)または、菱野団地行きの一部(5番乗り場)、長久手文化の家北下車、徒歩4分
- 名鉄バスセンターから名鉄バス、トヨタ博物館前行き、長久手文化の家北下車、徒歩4分
- 東名高速道路名古屋インターから車で10分、名古屋瀬戸道路長久手インターから車で10分



※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。